


都立青山特別支援学校（港区・渋谷区・目黒区センター校）

特別支援教育センター的機能通信 No.8（通巻 No.83）

つなぐ 

令和 6年12月 2日(月)

都立青山特別支援学校校長 中澤 将人  
相談支援部主任 中村 尚子  
文責 田崎 里香

## 中学部 学校間交流を行いました

10月10日（木）に、青山特別支援学校中学部1年生24名と青山中学校の生徒34名が本校体育館に集まり、グループに分かれてポッチャで交流を行いました。

《Welcome》

体育館の入口には、美術授業の中で制作した「青山中学校のみなさん ようこそ青山特別支援学校へ！」のウェルカムボードを飾り、青山中学校のみなさんを出迎えました。始まりの会では、ウォーミングアップとして全員で「愛のしるし」のダンスを踊りました。軽快に楽しそうに取り組んでいる姿は、学校間を越えて全員で一つの演技をしているようで、とても有意義なものでした。



《はじめに・・・》

グループ別の活動での自己紹介では、名前と好きなものを発表しました。好きなものが重なると、「同じだー！」と嬉しそうな表情も見られ、距離がぐっと近づいた様子がありました。好きなものや好きなことが同じだと、やはり嬉しいものです。また、自分とは違うものでも「へー、今度見てみようかな」とか「やってみようかな」など新たな興味につながる素敵な声も聞こえました。同学年のみんなの「同じ」と「違う」を知り、より深い交流につながるスタートとなりました。



### 《勝負だけではない、歩み寄りの交流》

ボッチャゲームが進んでいくにつれ、どのグループも盛り上がってきて、高得点が入った時には敵・味方関係なく「おおー！！」と歓声があがったり、拍手が聞こえてきたりしました。しだいに、生徒同士で協力して進行や係活動を行う姿も見られました。相手のことを理解して、ボールの渡し方を工夫したり、得点を計算する人と記入をする人と分担をしたり…。白熱した雰囲気の中でも、一緒に活動する友達に優しく声を掛けたり、頑張っている姿を見守ったりする温かい雰囲気となりました。

同じチームで一緒に取り組むことで、それぞれの得意なことや苦手なことが少しずつ見えてきます。お互いに歩み寄りながら、係活動など協力してできたことは、今回の交流の大きな意義だと感じます。



### 《数日後・・・》

事後学習で、手紙の交換を行いました。青山中学校の皆さんからのたくさんのメッセージは、どれも「～が好きな○○です」と自己紹介での好きなことと名前を結び付けたもので、「あー、あの子だ！」とイメージがしやすい工夫がしてありました

短い時間ではありましたが、楽しく過ごしながら、同じ地域で学ぶ友達のことを知ることができる充実した時間となりました。



青山中生徒の  
皆さんから  
いただきました！



## ◆校内の保護者の皆様からの御相談をお受けいたします。🌱

コーディネーターが御家庭での子育てのお悩みなど、一緒に考え、解決していけるよう御相談に対応しています。担任を通じてお電話や連絡帳にて、御相談ください。

